

2026年1月30日

NPO法人臨床トンネル工学研究所
第19回W+「宮崎 220 号内海トンネル新設工事」見学会報告書



石川稚子(W+リーダー／第一建工)

2026年1月15、16日に「宮崎 220 号内海トンネル新設工事」見学会を実施致しました。

国道 220 号は宮崎県の観光・産業の基幹ルートですが、当該地域は特に降水量が多い地域であることに加え、雨にもろく崩れやすい地質となっており過去に多くの土砂災害が発生しているところ。今回の整備により土砂災害発生箇所を回避することができ、安全安心な通行が確保されるとともに異常気象時通行規制区間が短縮されて災害に強い道路改良が期待されています。

今回の見学会開催にあたり、西松建設株式会社様には多大なるご協力を頂きましたこと心よりお礼申し上げます。

- * 日時:2026年1月15日(木)16日(金)
- * 見学現場:宮崎 220 号内海トンネル新設工事
- * 参加者:W+より5名、NPO 一般公募より3名の計8名
- * 同行者:関東支部より2名
- * 参加メンバーの声(アンケートより抜粋)
 - 所長他、西松建設の皆さんが真摯に対応くださり、とてもありがたかったです。坑口付けや拡幅断面等、今後の設計に反映させていただきたいと思います。
 - 現場職員 9 名のうち 5 名が 20 代という構成もあり、非常に活気に満ちた、雰囲気の良い現場であると感じました。
 - 仮設ヤードのスペースが限られている中、仮設備の配置を工夫し効率的に運用されている点が印象的でした。
 - 国道や別荘地に隣接し、騒音・振動・粉塵への高度な配慮が求められる中、散水車の常時稼働や防音扉の設置など、現場運営の難しさと責任の重さを改めて実感しました。
 - 女性技術者同士のネットワークを築けたことが何よりの収穫です。同世代の活躍を間近に感じ、同じ技術者として非常に良い刺激をいただきました。
 - 今までの現場見学などで、インバート部分を見る機会がなかったので実際のインバート部分を見学できてとても参考になりました。
 - 事務所から発破の振動を体感できたことが印象に残っています。

見学の様子

